

貴重な体験を終えて  
伝えたい思い  
We want to tell you about our experience

夢の翼まとめ

「夢の翼」を終えて、参加した生徒10人は、たくさんものを学び、体験しました。また今回の経験は、事後研修として夢の翼へ参加できなかった生徒たちにも伝えられます。最後に、参加した生徒たちの香港での感動や経験、今後の目標をご紹介します。



2月1日海外研修を終え、市長室を訪問

川畑 茉央 さん



黄大仙や文化博物館などに行き、香港の文化や歴史、慣習について学びました。買い物では、簡単な単語しか分からなくて伝わらないことも多く、お金の使い方も難しく、コインがたくさんになりました。大変なことばかりでしたが、買ったときの達成感は日本では感じることができないものでした。言いたいことが伝わらないことが多く、英語をもっと身に付け、たくさんの人たちに話しかけられるようになり、いろいろな国の人とコミュニケーションをとれるようになりたいです。

中馬 莉音 さん



私が今回の研修で一番驚いたことは、香港では一軒家の住宅がほとんどないことです。街中を見渡すと30階から40階建ての高層マンションがいたるところに建っていました。香港は、住む土地が狭く、人口密度が高いから、建物が高く作られるそうです。狭い土地を工夫しながら利用し、みんなが生活していることは本当にすごいことだと思いました。これからもいろいろなところに旅に出て、今回の研修のように、世界中でたくさんの経験を積んでいきたいと思っています。

吉留 菜穂 さん



私は今回の研修で、初めて飛行機に乗りました。ものすごいスピードで飛行機が走りだし、機体がふわっと飛び立ちました。飛行機はとても不安でしたが、キャビンアテンダントさんが笑顔で接してくれたので不安が和らぎました。また、機内から見たじゅうたんのよう広がった雲や香港の景色は、とてもきれいでした。将来、海外でもっとたくさんの景色を見たいと思いました。今よりも英語をたくさん勉強し、何事にも積極的に挑戦していきたいと思っています。

池田 彩夢 さん



宝石や時計のブランド店が街のいたるところにありました。どうして多いのか、現地のガイドさんに聞くと「中国人観光客向けに作られた店がたくさんあると教えてくださいました。とても高級そうで、「いつか買いたい」と何回も思いました。香港の店員さんの多くが日本語を話すことができびっくりしました。中学校で同じ年の生徒や、4つ年上の先輩方と交流して、もっと色々な話をしたかったなと後悔しました。これからたくさん言葉覚えて、外国の人と話せるようになりたいです。

坂元 葵衣 さん



日本となじみ深い食べ物やあまり見かけない食べ物を食べました。一番驚いたのは金木犀のゼリーです。一口食べると口の中に苦みが広がり、とても衝撃的な味でした。飲茶という独特な食事体験し、みんなで楽しく本場の中華料理を食べることができました。食事だけでも、日本との文化の違いを学ぶことができました。世界の人たちとコミュニケーションがとれるようになったら、視野が広がると思いました。英語を勉強し、他の国の文化や歴史も調べて、自分の知識を増やしたいです。

寺澤 愛心 さん



私は、香港と日本では、数字を表す指の使い方が違うことに気づきました。文化や生活習慣などの違いは、普段の行動などにも表れるものだと感じました。食事のときも、料理を食べる前に皿や箸を自分で洗ったり、自分が使う箸と取り箸が別々に準備されていたりと、日本とは異なることがたくさんありました。また香港で食べた本場の中華料理の味は日本とは異なる格別なものでした。これからも、日本とは違う他の国の文化や生活習慣をたくさん知りたいと思いました。

西川 修平 さん



香港研修3日目の夜、「シンフォニーオプライツ」という光と音のショーを見ることができました。とてもきれいで、思わず見とれてしまいました。垂水市でも千本イチョウのライトアップがありますが、もっと光を使った観光地を作るといいなと思いました。今回の香港研修を通して、世界の広さや、海外に目を向けることの大切さを知ることができました。これからも英語をたくさん学んで、もっと海外の人々とコミュニケーションが取れるよう頑張ります。

和田 健聖 さん



今回の海外研修では、香港の方々の優しさや行動力に感動しました。同行してくれた現地のガイドさんは日本語がとても上手で、私たちにたくさん話しかけてくださいました。観光地や街中での説明もとても分かりやすく、私たちのどんな質問にも答えてくれました。香港のまちの人たちも自分の英語（単語を伝えただけでしたが）を一生懸命に理解しようとしてくれて、身振り手振りで何とかコミュニケーションをとることができて、とてもうれしかったです。

岩切 斗我 さん



王肇枝中学校で英語で垂水の特産品などをプレゼンテーションしました。とても緊張して、不安でしたが、生徒の皆さんの反応が予想以上に良く、楽しみながら紹介できました。垂水の良いところを伝えるために、何度も練習したので本当にうれしかったです。香港は昼も夜も人がいっぱい街は活気がありました。香港を訪れ、英語でコミュニケーションをとり、多くの人とふれ合い、貴重な体験をしたことは、大きな財産です。このことを将来の垂水のために役立てたいと考えています。

永田 清瑛 さん



香港で驚いたことは、鹿児島の高速度道路の制限速度が80キロなのに香港の制限は100キロだったことです。ほとんどの車が猛スピードで走っていました。道路も車優先で横断歩道がほとんどなく、道を渡るとき大急ぎで渡りました。研修が終わって一番強く感じたことは、香港も良いところがたくさんありますが、垂水も負けていないということです。垂水の自然や文化、歴史は大切に引き継いでいきたいです。このことを行けなかった人たちにも、その他の人たちにも伝えたいと思います。